

## ■タイ：電力開発計画を見直し

エネルギー省 (DOE) は 2013 年 6 月 18 日、2030 年までの中期・電力開発計画 (PDP・2012～2030) を 10 月までに見直すと発表した。それによると、現状のままで電力需要が増加すると最大電力が現在の 3,300 万 kW から年率 4～5% で増加し、2030 年には 7,000 万 kW 以上になり、電源開発の加速と共に、輸入電力量の割合を現在の 10% から 19% に引き上げる必要があるとしている。同省は、発電設備容量に占める天然ガス火力の割合を現行の 54% から 2030 年には 32% に引き下げ、石炭火力を 13% から 18% に、再エネを 14% から 22% とする方針を打ち出している。